

## 平成 22 年度第 2 回募集 財団法人浜松市文化振興財団

## はままつ文化サポート対象事業

種 別	A 平成 23 年度上期文化力コース		
実施団体名	アンテナ／untenor		
事業名	ER プロジェクト		
実施年月日	平成 23 年 4 月 1 日（金）～平成 23 年 8 月 31 日（水）		
実施場所	中心市街地の空き室など	実施回数	5 日間 5 回
入場料	無料		
事業内容	<p>事業の目的</p> <p>現在振興なまちなかの空き室問題を解決するために、空き室を DIY 方式で低コストで改修し、まちなかの空き室を利用する可能性を広く探ることを目的とする。</p> <p>事業内容</p> <p>中心市街地に位置する教育機関にとって、地方都市の典型的問題を多く抱える中心市街地は、絶好の教育現場であり、社会実験場である。そこで、実現を前提としたプロジェクトに取り組むことで、学生の創造力を最大限引き出した、全国的にも注目度の高い実践的プログラムとなる。三段階の教育プログラムとして展開する。別プログラムによるリサーチの同時並行で行う。</p> <p>一段階目は学生によるアイデア提案である。現地の敷地（空き室）と予算を課題条件として設定し、実現化を前提とした創造性を引き出すことを目的としている。</p> <p>二段階目は実施設計と施工ワークショップである。一段階目で選定した、あるいは再設計した案を学生たちが施工する。架空の設計課題がほとんどの中で学生たちは建築、空間を実現することを体験する。それ自体が最大の教育である。</p> <p>三段階目は学生が自らの設計、施工した空間に住むことである。自分達が設計した空間がどのように機能しているかを肌で体験でき、自らの設計へのフィードバックも可能となる。</p> <p>また、同時に空き室を利用したイベントを行うことによって空き室の活用を広く知ってもらおうことを目的とする。</p>		
波及効果	<p>浜松市及びその周辺地区へ、まちなかの空き室が有効利用可能であることを示し、にぎわいを創出するきっかけを作りだすことが期待される。また、学生が設計施工に関わることによって、教育的な価値を提供する。全国的にも珍しく注目度の高いことが予想されるので、中心市街地の空き室活用の宣伝的な効果も期待できる。</p>		
事業費総額	500,000 円		
助成金額	100,000 円		